

D & D ピクチャーズ新作プラネタリウム番組のご紹介

D & D ピクチャーズ

【コズミックフロント～ファーストスター誕生～】

NHKBSで放送している人気番組「コズミックフロント」がプラネタリウムになります。この広大な宇宙で最初に生まれた星はどのようにでき、どんな姿をしていたのでしょうか。ファーストスター誕生の謎にせまります。

【はじめての星の王子さま】

アントワヌ・ド・サン＝テグジュペリが自分の実体験を通じて描いた世界的名作「星の王子さま」。そこには彼の様々なメッセージが込められています。美しいアニメーションと音楽と共に「星の王子さま」の世界へご案内します。

【スターオーシャン】

宇宙にはまだ私たちの知らない星の海が広がっています。だとすれば地球のように生命が息づく星は他にもあるのでしょうか？女優の優香さんによる優しいナレーションと美しい映像で送る宇宙の神秘です。



スターライトスタジオ2015新規制作コンテンツ・番組の紹介

(同) スターライトスタジオ 三谷真佐幸

(この行には記入しないでください)

当スタジオは科学の面白さを伝えることに重きを置いたドーム映像・番組の制作を続けています。今回も新たな全天CGコンテンツや作品を紹介いたします。

まず、一般相対性理論 100 周年記念として昨年制作予告した科学番組『重力 (重力の秘密)』が完成しました。現在好評上映中です。アインシュタインにスポットを当てた別バージョンも完成済みです。

新規ショートコンテンツは『重力波望遠鏡KAGRA』。その他に、制作予定のコンテンツは準惑星の素顔に迫る『探査機によるケレス、冥王星の紹介』。こちらは暫定版をデモし、探査機からの新たな情報を待つて完成させます。

最後に、これも今年の大会で予告しました現在制作中の番組『宇宙図』の予告編を紹介します。ご期待ください。



KAGAYA スタジオ最新作『オーロラの調べ』の紹介

KAGAYA スタジオ KAGAYA

オーロラが舞う島アイスランドには、今でも北欧神話が語り伝えられています。妖精や巨人が出てきそうな不思議でダイナミックな景色がこの島の特徴。

アイスランドやアラスカで撮影した、白夜や極北の星空、地球の自然とともにさまざまなオーロラを映し出します。

オーロラはどこに現れるのか。色や形はどのようなものがあるのか。その発生のしくみは？

さまざまなオーロラ実写映像のほか、オーロラが光るしくみをCGで解説します。北極圏で見える星空、氷河やツンドラに連なる山々の絶景。大自然とともにオーロラの魅力を満喫する作品です。



「星と笛と月の物語 Hommage to Andersen」について

会員名 合同会社アルタイル 加藤 治

この作品は、アンデルセンの名作「絵のない絵本」へのオマージュとして、「月が見ていた」という設定をベースに、星と月とフルートの音による幻想的で優しい物語世界を描きます。映像は、童話のために描き下ろした作画によるキャラクターとCGによる全天周デジタル映像+プラネタリウムの星々による三重奏。音楽は、物語へと誘うフルートとギターによる美しいオリジナル楽曲。どこか懐かしく、心温まる感動的なストーリーを展開する一方で、「光の原理」、「スペクトル」、「星の一生」を見つめるサイエンスとしての要素を融合させ、プラネタリウム、ドーム空間ならではの圧倒的な臨場感と叙情性、そこから生まれる新たな感慨をお楽しみいただくプログラムです。

アンデルセン作「絵のない絵本」

「絵のない絵本」は、貧しく若い画家が、夜ごと世界中を見つめている「月」の語る話しに耳を傾ける・・・という設定で描かれた連作短編集です。今回の番組では、この作品へのオマージュとして、同様の設定から、「絵のない絵本」にはない、プラネタリウムのためのまったく新たな物語を生み出しました。

(その他数作品の予告をご案内しております)

「キズナノホシ」ダイジェスト

カガクノトビラプロジェクト 小林道夫

全天周実写映像＋ボイスドラマ、それが「キズナノホシ」製作のコンセプトです。今回は6分間のダイジェストをお届けいたします。

作品のテーマは“人と星、人と人を結ぶ絆”。主人公が一枚の写真を手がかりにあちこちを訪ね歩き、失われかけた父との絆を再構築するロードムービーです。

映像はほぼ全編を通してタイムラプス（静止画の連続撮影）による実写映像です。また一人称視点により、観客が主人公の体験する環境を迫体験していくという形をとっています。

この「キズナノホシ」は天文にあまり親しみを持っていない方々がターゲットです。ドラマですので天文的な内容は平易ですが、観た人の行動を変えるモチベーションになれるような、そんな強いメッセージを持った作品に仕上げました。

映像技術はまだまだ未熟ですが、3DCGでは表現できない現実感や温かみを持つ実写映像は、大きな可能性を秘めています。今後のカガクノトビラの取り組みにもぜひご注目いただければと思います。



児童向けプラネタリウム番組「太陽系ファミリー in 横浜」

Astrolab

この番組は、横浜で行われたイベントで上映するために制作されました。地域の方に親しみを持って天文のお話を楽しんでもらうためのテーマとして、「太陽系を体感できるスケールにしたら？」という仮定のもと、なじみのある場所を惑星軌道の位置に当てはめ、さらに惑星のサイズもなじみのある物に置き換えて見せていきます。

また、8つの惑星をキャラクター化して登場させ、より惑星たちを親しみやすく感じてもらえるようにしました。

身近な場所に置き換えることによる「体感できる太陽系」をお楽しみください。

